



福祉支える師弟愛

花畑 明美さん「負けん気強く誇り」

どんなに厳しく怒っても、泣きながらも付いてきてくれた頑張りやさんです。最初に出会った学生のことから負けん気は強かったみたいです。短期大学に戻る前に勤めていた数力所の福祉施設では、高い評価を受けていると聞きましてほしいですね。

保育や介護の現場へ多くの人材を輩出してきた宮崎学園短期大学。専攻科（福祉専攻）教授の花畑明美さん（57）は、かつて教え子だった戸敷早苗助教（29）と10年来の付き合い。時に感情をぶつけ合いながら、今も師と弟子として、福祉のスペシャリスト育成に打ち込んでいる。

地元で貢献したいとの思いでこの短期大学に入り、現場での経験を経て4年前に戻ってきた。花畑教授と一緒に授業を

戸敷 早苗さん「人間味あふれ目標」

担当しているほか、4月からはあるたびに相談に乗ってもらっています。時には一緒に飲んだり旅行に行くことも。人間味あふれ、学生を引きつける教授のようになれるよう、頑張りたいと思います。



10年来の付き合いとなる花畑教授（右）と戸敷助教

置する中野地区は、時の世に影響を与えた儒学者・安井息軒の生家が残る歴史の町。住民も「由緒ある地区」と誇らしげだ。「よく知る町の奥にはこんな顔もあったのか」。新旧対照的な文化が共存するこの地域の新たな魅力を知ることができた。（久）



生まれ育った宮崎市月見ヶ丘から同市清武町加納地区へ入るには南バイパスをくぐるだけ。行きつけの書店やラーメン店がある、幼いころから慣れ親しんだ地区だ。交通の便も良く、旧宮崎市のベッドタウンとして新興住宅が立ち並ぶ。一方、同地区の南に位